

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

共に夢を語り合い自信を描いて行動しよう。

30th. ANNIVERSARY



社団法人
長崎青年協会

発行●(社)長崎青年協会 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階 会長 和田正信 編集●広報委員会 広報委員長 野島徹也

会長あいさつ

今年度スローガン 「共に夢を語り合い自信を持って行動しよう」



会長 和田 正信

青年協会創立30周年おめでとうございます。

昭和44年3月に、郷土長崎をこよなく愛した7名の若者により自己の建設と、会員の相互扶助の精神の基に、地域社会の発展に寄与することを目的に創立されました。

30周年立った今現在もその意志は、引き継がれ、一年を通していろんな活動を行なっているものと思っております。

本年度のスローガン「共に夢を語り合い、自信をもって行動しよう」は、達成出来たか、どうか、わかりませんが、21世紀に入るこれから先、会員の皆様には、青年協会として何をおこなうべきか、何をもとめられているのか、真剣に考え、真剣に討議し、地域社会の発展に貢献できるようがんばっていかなければならないと思います。

そして、青年協会の誇りとして、誰よりも、泥んこになり、あせを流しつづけていく事をのぞみます。

最後になりますが、理事者の皆様で初め、会員の皆様には、本年一年間、大変お世話様になりました。この場をおかりいたしまして、お礼申し上げます。

次年度は伊藤克樹新会長のもと会員で協会を盛り上げてまいりましょう。

2月定時例会



去る2月22日(月)、ホテルニュー長崎において、定時例会が開催された。会長挨拶に続き、委員会報告となつたが、この中で、ついに我ら青年協会のセカンドソング“友”が30周年担当より発表された。作詞：櫻井俊郎君、作曲：椋尾敏郎O.Bによるこの曲が、河野文彦君のヴォーカルで会場内に流されると、委員の中には、感動のあまり思わず涙するものまで現れた(?)。3月5日の記念式典では、全員でバッチャリ歌えていることと思います。

後半は、O.Bの渡辺秀孝、田中潤介両氏による講師講演となった。この日は、「対外事業との関わり方と変遷」という、ちょっと堅そうな演題であったが、さすがは百戦錬磨のO.B、掛け合いトークで面白可笑しく話して頂いた。特に若い会員にとっては、現在協会が携わっている事業の変遷を知るうえで、貴重な体験談を聴く機会であったように思う。

最後に、両O.Bより会員に頂いたメッセージを。

渡辺O.B 「横のつながりを大切に。それがすべての基本です。声掛けて情掛けて。」

田中O.B 「熱くなつて21世紀を迎えてください。」

会員の皆さん、肝に命じておきましょう。

2次懇親会：「ぐるめ懇親会 in FEBURARY(最終回!!)」



魔似亜通垢. I

平成11年2月22日(月) 2月度定時例会後の2次懇親会が寿し割烹「仁」で行なわれました。和田会長の乾杯の音頭で開演され会員方は空いた御腹を満たす様に食事をしながら、親睦を深め合っていました。料理は「刺身」・「揚げ物」・「鍋物」・「雑炊」等の献立で大変、美味に頂く事が出来、満腹となりました。今月の例会では講師として御講演下さった渡辺O.B・田中O.Bの御二方も御出席下さい、現役の会員と酒を酌交しながら交流を楽しくしていた様でした。楽しい時間も束の間、宴も竹縄という所で諦めを出川30周年担当理事にお願いし閉演となりました。今回、2次懇親会に欠席された方や、また、出席された方も会社の間の同僚や御家族で再度「寿し割烹 仁」を訪れてみてはいかがでしょうか?

うか? 今回とはまた違う内容での食事をする事で充実した時間が通せるのでは無いかと感じます。さて、ぐるめ懇親会も今月で最後となりますが今年度4月~2月までの間、御出席下さった会員の皆様、本当に有難う御座いました。行届かなかつた所も多々有りましたが会員相互の親睦のお手伝いが多少なりとも出来て、とても良かったと委員会一同自負しております。次年度からはまた、違った2次懇親会が始まるのでしょうか? これからもより多くの会員同士の親睦が深まれば良いかと思います。

平成10年度海外研修レポート

去る2月6日JAL971便は川原団長以下17名を乗せて今回の研修の目的地ソウルへと向かった。前日が理事会ということもあって、福岡空港朝8時の集合は心配されたが、遅刻者は0で最後に余裕で現れたのは添乗員の木下君だった。眠る間もなく約75分でキムポ空港に到着、そこはまさに韓国であった。

カメラマンの峰君が集合写真をパチリ！合図はもちろんキムチ～昼食の石焼きビビンバは俊幸さん曰くイマイチ、ここの名物はやはりビールだったのか？一行は朝鮮王朝は建国した李成桂によって1392年に建てられた景福宮という最初の正宮を視察後、戦争記念館へと向かった。

会員一人一人がどんな思いをもったかは別としてここは池田会員交流委員長の感想を聞いてみることにしよう。

この記念館を見学して思ったが、出国前に日本で聞いていた様な「日本人は行きにくい。」と言う事が殆ど感じられなかつた。この記念館には確かに過去における日本からの侵略についての資料を展示してあるホールが存在するが館内展示資料の全体的な割合は極めて少なく、またその侵略内容についても多くを展示していない様に感じた。

これはこの記念館が韓国建国に貢献してきた韓国国民の館で有るが故に侵略国（朝鮮戦争以前）の資料については多くを展示しないのだろう。また、朝鮮戦争時の資料がありにも多く展示されている為にそう感じたのだろうか。戦争終結から約40年が過ぎ去り戦時下では無いにしろ、この国にとつては朝鮮戦争はまたいつ勃発するか分らない紛争である。

本人の考えるような悲惨さのみを前面に押し出したような戦争をモチーフとした記念館とはまったく異なる堂々たる記念館であつた。この先、韓国でソウルを訪れる機会の有る方には是非、見学をお薦めする。1日中、館内に居てもまったく退屈するような事はないだろうし、また、韓国の歴史を知る上では欠かせないであろう。

By最近??、右よりな魔似亞通垢 and ウエポンオタツキー

とまあ何を言っているのか分からぬ節もあるがとにかくそういうところです。2日目は予定されていた統一展望台（38度線）には都合によりいけなかつたが、伊藤さんをはじめ多数の会員が戦争記念館に再度足をはこんでくれたのは委員会として誠にありがたいことと言わなければならぬ。

夕食は2日間とも焼き肉となつたが、木下君は電卓を片手に（慣れない日本語？で）交渉してくれ安くおいしいカルビを食できた。真露（焼酎）のビール割りもいけた。共に夢を語り合い、さながら酒を飲む修学旅行生といった感じであった。

空港に向かう帰りのバスは、皆が充実感でいっぱいだった。そんな中で不測の事態が発生した。何と旅の達人木下君がメンバー全員のパスポートをホテルに忘れてきたのだ。あのとき岡田さんがきずかなかつたら… 彼の『よろこび』は確実だ。

何はともあれ、おいしいキムチとすばらしい旅のおもいでを胸にメンバー全員が無事帰還できて本当によかつたと思う。参加した皆さんおつかれさまでした。

また今回の研修をかけながらささえていただいた和田会長をはじめ会員の皆様に心からお礼を申し上げます。

P.S 私が買ったハンティングワールドのバッグは象じやなくてサイのマークやつた。とほほ…そりやだサイね。すみません、実話でした。



社団法人 長崎青年協会30周年記念式典 盛大に開催さる!!

平成11年3月5日(金) 於: ホテルニュー長崎 凤凰の間

去る3月5日(金)、ホテルニュー長崎に於て、長崎青年協会30周年記念式典が、長崎県知事 金子原二郎様をはじめ、多数のご来賓のご列席のもと、また多数のOBの皆様の方にもご出席を頂き盛大に開催された。

開会宣言のあと、憲章唱和、つづいて和田会長による挨拶、当協会のOBでもある金子県知事統いて伊藤市長による来賓祝辞を頂き、また、日頃より大変お世話になっているOB会を代表されまして、三浦勝太OB会会長より祝辞を賜わった。

引き続き浜本浩邦(社)長崎青年会議所理事長による乾杯の音頭により、祝宴にはいった。宴も盛り上がる中、アトラクションとして銀屋町による鰐太鼓が披露され、ひときわ会員の湯藤正典君のバチさば



きが光っていた。

次にスライドによる「長崎青年協会30年のあゆみ」が上映され、過去のいろいろな事業が思い出され、OBの皆様をはじめ、現会員ともいろんな話で盛り上がっていた。そんな中、今回スペシャルアトラクションとして、長崎青年協会応援歌「友(想い……)」が当協会歌自慢精銳

11名によって披露された。ちなみに作詞は櫻井俊郎君、作曲・編曲は椋尾敏郎OBで、とてもいい歌なので、これからもことあるたびに歌つてもらいたいと



思う。

宴もたけなわの頃、次年度会長 伊藤克樹君の挨拶があり、青年協会の歌を歌って、最後に宗保孝商工会議所青年部長による万歳三唱で締めくくった。

最後に会員全員でご来賓の方々、O B の皆様をお見送りをして、式典は無事盛大に終了した。

さてここからが青年協会らしいところで、O B と会員は、また会場へもどり、記念撮影をしたり、色々と盛り上げて下さる諸先輩（だいたいメンバーは決まっている）によって二度しみじみと30周年をお祝いした。

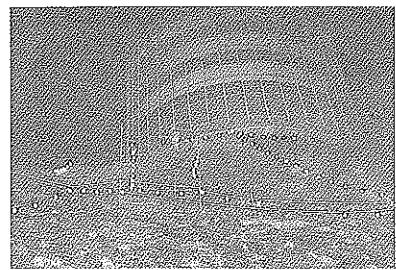
何はともあれ、これだけ多くのご来賓、O B の方々にご出席頂き、成功裡に終了した事は、これから40周年、50周年と青年協会が大きく発展し、地域社会の発展のため、会員一丸となって努力を積み重ねていかなくてはという使命感みたいなものを感じざるを得なかった。

最後に30周年担当、担当委員会、皆様大変お疲れさまでした。



一九九九 稲佐山的燈會 in ランタンフェスティバル

今回で三回目になる稻佐山的燈會、ランタンフェスティバル期間中の2月16日～3月2日のロングランで行われた。一年目がランタンを象ったイルミネーション、二年目が「春」を上下逆さまに取りつけたイルミネーション、そして三年目の今年は「灯」の文字のイルミネーションが設置された。設営は2月13日昼から行なった、今年は設営を極力簡単にする為の工夫が随所に見られそのおかげで比較的簡単に時間も人数も少なくて出来た。日没後、点燈テストをし本番を待った。期間中は全委員会が交代で山頂に登り警備を行った。今年も各マスコミには取り上げてもらったが“稻佐山的燈會”的認知度はまだまだかも知れない、しかし継続することによって市民はもとより観光客や県外の方への認知度も上がり、反応してもらえる事によって手応えを感じ、それが地域の活性につながるのであれば、協会内でもいつそういう意識の強い事業になっていくだろう。



「ちょっと聞いて良かですか？」Vol.10

平成11年2月22日の例会に来た48名に聞きました。

Q1. あなたは、どれぐらい長崎青年協会員の团结はできていると思いますか？

100～81%	3人	60～41%	21人 (内50% 11人)	20～0%	0人
80～61%	5人	40～21%	9人	無記入	5人

Q2. あなたは、長崎青年協会の会の中で相互扶助していますか？

・している 31人 ・していない 7人 ・わからない 2人

Q3. あなたの、自己の建設に長崎青年協会は役立っていますか？

・役立っている 33人 ・役立っていない 3人 もう一步 1人

Q4. あなたは、長崎青年協会の会員と親睦を図っていますか？

・図っている 35人 ・図っていない 2人 ・わからない 2人 ・図りたい 1人

Q5. あなたは、長崎青年協会を通して地域社会の発展に寄与していますか？

・寄与している 32人 ・寄与していない 6人 ・わからない 3人

Q6. あなたは、今年度共に夢を語り合い自信をもって行動できましたか？

・出来た 15人 ・出来なかった 19人
・その他（少しボケた、自信は無い、出来たことも出来なかったこともある、ある程度、今後自信を付けていく）

Q7. 会員に投げかけたい質問又は言いたいことがあればお書きください。

- ・老いも若きも、もっとガッツをもって言いたかことば言おうで!! ・時間のルーズさと統制
- ・やる時はやろう！ ・いや ・もっと言おうよ、もっと行動しようよ
- ・熱くなる感じが少ない気がしませんか？ ・責任を持って行動しようよ ・和を大切に！
- ・♪想いがあれば出来ないことは無い、色々と言う前に動くことだ俺達らしく…
- ・何事もまず出席しよう ・最低限のマナーは守ろう（出欠の返事など）
- ・世紀末ですあなたは生き残りますか？
- ・みんなと一緒に楽しく事業をやりましょう、お金はあまり使いすぎないようにしましょう
- ・会費を払って協会に入会している訳だからもっと有意義に頑張ってほしい
- ・もっと新入会員を紹介しようよ！
- ・楽しい好きだと言う気持ちの中で協会に入っているが活動をしているか
- ・あなたは夢と目標を持っていますか？ ・例会をもっと考えよう
- ・O B、二世を入会させでは？
- ・本日100%例会、今日いない会員は青年協会員でしょうか？

ご協力有難うございました。

----- オイにも 言わせろ!! -----

目指せ 満点 委員会

総務例会委員会の巻

さてどん尻に控えしは「卒業者を贈るタベ」いやいやその前に、今年度は「30周年記念式典」を間じかに控えた総務例会委員会。その式典に100%会員に出席してもらう為に委員会が集まり出欠の最終確認及び呼びかけが行われ又、式次第と進行の確認を和田会長や田川30周年担当理事と共にしていた。さて委員会のメンバーだが出席していたのは峰委員長、原田副委員長、守本30周年担当、新人の野口君（新人紹介の時、名前を間違えてごめんなさい。正しくは野口富士男君です。）…後から山室君が参加したがメンバー10人中（内1名入院中）なんとか5名の参加で

50点

もう少しがんばりましよう



同好会案内

▶パソコン同好会（メル友倶楽部）総会開催

猿、いや、去る2月20日（土曜日）街は「ランタンフェスティバル」で賑わう中、ビストロ銀鏡において第2回総会が盛大に執り行われた。

ホームページはもちろんのこと、パソコンの操作、電子メール・配信情報等の意見交換、さらにはオリジナルドメイン取得に関するものなど終始話題は尽きなかった。

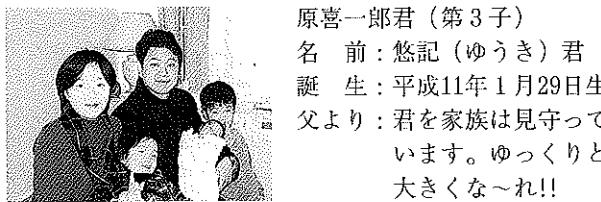
特に興味深かったのはこの会独自でインターネットのサーバーを設置する件である。言うなれば、この会でインターネットプロバイダーのような運営も可能ということなのだ。当然、ドメイン名もある程度自由につけられるわけで、例えば「××××@××××.ocn.ne.jp」だった人が、「××××@nya.or.jp」になることが可能なんだそうだ。これは、いまのメールアドレスに不満を持つ人にも朗報であろう。そのうえ、プロバイダー接続料もなくなるそうだ。

さらに今月は、NTT長崎支店においてインターネット関連の勉強会も開催予定である。今後会員を増やし上記サーバー設置を当面の目標に日々活発な活動を行なっているこの会に、皆さんの多数の入会をお待ちしています。

詩上法人長崎川柳協会（題：しめ）

今回は以前締切りに間に合わなかつた人と新人です。

シメキリが せまつてもなお 手をつけず
(団太とかね)
シメキリを いつも忘れて 電話来る
(電話来るだけよかたいね)
シメキリに 追われて家を 締め出され
(記念誌CD-ROMお疲れ様でした)
おめでたし 青年協会 30段ジメ
(byマスザキパン)



原喜一郎君（第3子）
名前：悠記（ゆうき）君
誕生：平成11年1月29日生
父より：君を家族は見守っています。ゆっくりと大きくな～れ!!



リストラで 仕事も家も 締め出され
(君にはNYAがある)
どうしよう 締め切り間近 もうダメだ
(やればでくっやつか)
お休みの あなたの時間を 一人“じめ”
(そがん言われてみだか)
春近し 世間はまだまだ 春遠し
(韓国でしめられすぎ)

長崎青年協会の知ってるつもり

好評のうちに?とうとう最終回となったこのコーナーを締めくくるのは過去の広報誌のあれこれを書いてみることにする。

まず広報誌が始まったのは第11年度(1978年)川添吾郎会長の時からだ。この頃は広報誌の予算を捻出するために広告を取っていた(1987年4月まで続く)。また、今読み返すと内輪うけする楽しい記事や厳しく意見をぶつける記事もある(この頃は内部配布だけだった為か?)、たとえば

- ・「例会の講師講演中私語が多い、中には居眠りをする人もいる協会の為に来て頂いているのに、そんな人は自分自身に対して猛省を促せ…。」**常識!**
- ・「協会に入会した以上は必ず例会に出席しましょう。」**当然!**
- ・「○○君(実名入り)会費が納まっていません至急収めてください。」**恐ろしか!**
- ・「ソフトボール大会を行います会費は各委員会〇万円、優勝は賞金〇万円がもらえます。」**良かとね?**
- ・編集後記でタイトルが“浮気”「人妻の浮気の原因はいろいろあるが……」と始まり、中略「サービスを怠らなければ妻は浮気などしないぞ。」と締めくくるのだが中略の部分はとてもこの誌面では掲載する勇気はない、機会があれば事務局に来て読んでほしい。
- ・独身者紹介と銘打って会員を紹介しているのだが(もちろん顔写真入り)、これが面白い「ピンクサロン同好会会員の34歳の男です、今回二度目の花嫁募集です、条件は 一、待遇業界最高 一、三食昼寝付 一、残業週4~5回体調不調の場合のみ休みあり。」どこまで本気だらうか?とまあこんな遠慮のない記事が毎号楽しめる。

その他にも様々な企画のもと色々なコーナーが…

・誌面にての委員会報告やよろこび、会員の引越しの報告、誕生者祝、クイズ(景品付)、クロスワードパズル、企業紹介、会員の会社のべっぴんさんを紹介する“べっぴんしゃんいらっしゃへい”、企業求人募集、退会者報告、料理教室、四コマ漫画“ばってん君”、挿絵(井上章OBのものは記憶に新しい)、“年男に聞く”、会員の家族を紹介する“僕の自慢の家族”“たまには奥さんの声”“突撃 夕食おじやま虫”、子供の作文、独身者を紹介する“チヨンガー列伝”“独身大図鑑”、はたまた“ニューワード豆辞典”“思い出のアルバム”“なぜなぜ勉強室”、と言ったタイトルだけでは中身の読み取れないものや、委員会を紹介する“委員会訪問”広報誌の表紙を使って顔写真入りで委員会紹介や、“言いたい放題”“友達の輪”など、とにかく思いつくものは長い歴史の中でほとんど行われている。そして広報誌のサイズも何度も変わっている発行当初はB5サイズで紙も決して良い質ではなかった、その後、第16年度(1984年)太田勝良会長の年、委員長は濱口康幸委員長の時は社団法人設立もあってか、なんとA4サイズで6ページしかしこの1年間だけだった、その後、「環境にやさしく…」と再生紙を使った時もあったが予算的には普通紙の方が安価ではあった…。それから昔の広報誌を見ていて気付いたのだが、委員会が年度当初に発行する広報誌は5月号から始まり4月迄を作っていた(現在は4月~3月)。第24年度(1992年)船越正治会長の年、城谷富好委員長の時と第25年度(1993年)森保博会長の年、伊藤克樹委員長のこの二年間は表紙がカラーで内容的にも充実していた。表紙の話をすれば第25年度(1994年)桑田啓伍会長の年、猿渡卓委員長の時は“よみがえれ歴史人物100選”と銘打って格調高いものを作っていた。こんな楽しい広報誌、事務局にちゃんとファイルされているので、ぜひもう一度読み返してもらいたい。

(社)長崎青年協会の輝かしい歴史を知る意味で。

ご愛読有難う御座いました。